

日本質的心理学会第22回大会
発表申込者の皆様へ

プログラムの暫定版につきまして、以下の諸点を必ずご確認ください。

■ご確認くださいこと

共同発表の場合、筆頭発表者・企画者の方は、連名者の方も含めてご確認くださいませようお願いいたします。

1. 発表者/登壇者等の氏名
2. 所属等
3. 発表題目
4. 発表日時の被り（複数発表される方のみ）

※各シンポジウムについては、ご提出された抄録原稿ファイルの内容をもとに作成しています。

※ポスター発表については、筆頭発表者の方が発表申込フォームに入力された内容をもとに作成しています。

■締切・連絡先

誤記等による訂正や発表日時の被りがありましたら、筆頭発表者/筆頭企画者の氏名を記載の上メールでご連絡ください。

締 切：9月5日（金）17時（日時厳守）

連絡先：大会準備・実行委員会プログラム担当 z56136840[at]gmail.com ※[at]を@に置き換えてください

■注意事項

- ・プログラムの内容にかかわる変更（発表者/登壇者の追加や削除、題目の変更、発表日時の変更、要旨原稿の差替）はお受けできませんこと、ご了承ください。
- ・年会費と参加費の納入が確認できない場合、発表申込が取り消される場合があります。

何卒よろしくお願いいたします。

4. スケジュール

1日目 10月18日(土)

	招待講演・総会 L棟205	シンポジウム L棟204	シンポジウム L棟206	シンポジウム L棟102	シンポジウム L棟104	シンポジウム L棟107	シンポジウム L棟109	ポスター管理棟2階 第一会議室	ポスター管理棟2階 第三・四会議室
8:30	受付開始								
9:00									
9:30			質的心理学研究編集 委員会企画シンポジウム	会員企画 シンポジウム 1	会員企画 シンポジウム 2	会員企画 シンポジウム 3		ポスター (一般発表セッション) (優秀賞選考セッション) P18A-1 ~ P18A-29 P18B-1 ~ P18B-10	ポスター (優秀賞選考セッション) P18B-11 ~ P18B-47
10:00			「アート」に基づいた 質的研究 —研究と実践・芸術と社 会の混交へのまなざし— 企画：鮫島輝美 山口洋典	ビジュアル・ナラティヴ とは？ —質的研究の新天地— 企画：横山草介 やまだようこ	データセッション への招待 —東京ディスコース 研究会の実践から— 企画：綾城初穂 大橋靖史 能智正博	AIが質的研究を どう変えていくか —その③— 企画：薛 海升			
10:30									
11:00									
11:30									
12:00									
12:30									
13:00	招待講演			研究交流 委員会企画シンポジウム					
13:30	質的研究 —経験から経験へと 架橋する物語りの科学—			ビジュアル・ナラティヴ プロフィールドの往還 と地域づくり 企画：杉浦彰子 杉山高志 香曾我部琢 高森順子 李 勇昕 河原智江					
14:00									
14:30	講演者：大谷 尚								
15:00									
15:30	準備・実行委員会 企画シンポジウム	質的心理学フォーラム編集 委員会企画シンポジウム	会員企画 シンポジウム 4	会員企画 シンポジウム 5	会員企画 シンポジウム 6	会員企画 シンポジウム 7			
16:00	職業的アイデンティティ を架橋する —人材育成の研究と実践 を通して—	「ケア」を考える —社会学・心理学・ 看護学の視点から— 企画：加戸友佳子 奥田紗史美 玉置佑介 細野知子	現象学的研究成果と 実践者との架橋 —実践可能性と困難さ— 企画：棚川綾子 坂井志織 小林道太郎	ABRで「土地の力」を 描き出す —映像とその制作 プロセスの探求— 企画：村本邦子	技術と人間が織りなす 「学び」を質的に 探究する —生成AI、ロボット、ス マートフォンを例に— 企画：水上拓哉	慧眼か凡眼か、 見識か不見識か、 その狭間を 葛藤とともに歩む 企画：本山方子 横山草介			
16:30									
17:00									
17:30									
18:00									
* 1									

* 1 懇親会：開始時間は18:00～ 会場は「学士会館1階ラ・ボエーム」

2日目 10月19日(日)

	招待講演・総会 L棟205	シンポジウム L棟204	シンポジウム L棟206	シンポジウム L棟102	シンポジウム L棟104	シンポジウム L棟107	シンポジウム L棟109	ポスター管理棟2階 第一会議室	ポスター管理棟2階 第三・四会議室
8:30	受付開始								
9:00									
9:30				会員企画 シンポジウム 8 多面的な(現実)と質的研究をつなぐーろう者・手話・コーダ・聾学校・聴覚障害の領域の研究から考えるー 企画: 中津真美 中井好男 西垣正展 広津侑実子	会員企画 シンポジウム 9 現象学的・エスノメソドロジ的研究方法とアクターネットワークセオリー・状況的学習論的なものの見方 企画: 海老田大五朗	会員企画 シンポジウム 10 一つの経験を複数の方法で分析することの意義ー記号力学的文化心理学の方法論から方法へー 企画: 廣瀬太介	会員企画 シンポジウム 11 TEMにおける時期区分の真正性向上ー個別化理論に基づくクロスチェック表の実践的活用ー 企画: 福山未智 サトウタツヤ	ポスター (一般発表セッション) (優秀賞選考セッション) P19A-1 ~ P19A-28 P19B-1 ~ P19B-10	ポスター (優秀賞選考セッション) P19B-11 ~ P19B-47
10:00									
10:30									
11:00									
11:30	総会 (11:45-12:45)							シンポジウム C棟203*2	
12:00									
12:30									
13:00	準備・実行委員会 企画シンポジウム	学会賞選考 委員会企画シンポジウム	会員企画 シンポジウム 12	会員企画 シンポジウム 13	会員企画 シンポジウム 14	会員企画 シンポジウム 15	会員企画*2 シンポジウム 16		
13:30	戦争・被爆・災害の記憶を架橋するー集散的トラウマに触れる、多様な実践とまなごしー	質的研究の明日のためにー『質的心理学研究』第22・23号優秀論文賞選考のフィードバックー 企画: 沖潮満里子 松本光太郎 山田富秋 櫻田美雄 勝浦真仁	コミュニティを変える力ー活動理論におけるTransformative agency概念を手がかりにー 企画: 保坂裕子 青山征彦	自然物を用いて複線経路を描くhana-TEMの発展可能性ー保育・看護・教育領域での応用を考えるー 企画: 中本明世	複線経路等至性アプローチ (TEA) とTriple Gegenstand理論の新たな接合可能性を探る 企画: 田中千尋	「居場所」の意義と多様性ー多文化社会における架橋としてー 企画: 鈴木一代 有川友子	参与構造を軸にしたメディアの相互行為分析 企画: 高梨克也		
14:00									
14:30									
15:00									
15:30	常任理事会主催 国際シンポジウム	会員企画 シンポジウム 17	会員企画 シンポジウム 18	会員企画 シンポジウム 19	会員企画 シンポジウム 20	会員企画 シンポジウム 21	会員企画*2 シンポジウム 22		
16:00	「円卓シネマ」から20年 私たちは何をなしえ、これから何をしていくのか 企画: 伊藤哲司 山本登志哉 中坪史典	伝統的日本文化の啓発と創発に向けてー継承と生成の分岐点ー 企画: 木戸彩恵	パフォーマンスが/でひらくアートベース・リサーチの可能性ー意味の生成と多義性をめぐってー 企画: 青山征彦	文化の中で揺れる〈私〉ーヤーン・ヴァルシナーの文化心理学に基づく「矛盾」の質的探究ー 企画: 番田清美	質的研究法としてのパターン・ランゲージーよい実践の本質/経験則を言語化し共有する方法ー 企画: 井庭 崇	歴史を見据えるフィールドワークー農と食と心理学7ー 企画: 石井宏典	アートを介して「知る」とはー音楽療法士によるアートベースト「リサーチ」体験型シンポジウムー 企画: 生野里花		
16:30									
17:00									
17:30									

*2 会員企画シンポジウム16と22の会場は、「C棟203」です。

登壇者および参加予定の方は、会場の場所をご確認の上、お間違いのないようにご移動をお願いします。

※氏名・所属・役割は、ご提出の抄録原稿ファイルをもとに作成しています。

委員会企画シンポジウム (IS)

委員会	タイトル	発表日時	登壇者氏名	登壇者所属	登壇者の役割
質的心理学研究編集委員会 10月18日 (土) 9:30-11:30	「アート」に基づいた質的研究－研究 と実践・芸術と社会の混交へのまなざ し－	IS-18AM	鮫島 輝美	関西医科大学看護学部	企画・司会
		IS-18AM	山口 洋典	立命館大学共通教育推進機構	企画・指定討論
		IS-18AM	岸 磨貴子	明治大学国際日本学部	話題提供
		IS-18AM	アサダ ワタル	近畿大学文芸学部	話題提供
		IS-18AM	山下 里加	京都芸術大学美術工芸学科	話題提供
研究交流委員会 10月18日 (土) 13:00-15:00	ビジュアル⇄ナラティブ⇄フィールド の往還と地域づくり	IS-18PM01	杉浦 彰子	JA共済総合研究所	企画・司会・話題提供
		IS-18PM01	杉山 高志	九州大学大学院人間環境学研究院	企画
		IS-18PM01	香宗我部 琢	宮城教育大学教職大学院	企画
		IS-18PM01	高森 順子	情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター	企画
		IS-18PM01	李 勇昕	立正大学人文科学研究所	企画・話題提供
		IS-18PM01	黒瀬 武史	九州大学大学院人間環境学研究院	話題提供
質的心理学フォーラム編集委員会 10月18日 (土) 15:30-17:30	「ケア」を考える－社会学・心理学・ 看護学の視点から－	IS-18PM02	加戸 友佳子	摂南大学現代社会学部	企画
		IS-18PM02	奥田 紗史美	大阪教育大学健康安全教育部	企画・司会
		IS-18PM02	元橋 利恵	津田塾大学国際関係学部	話題提供
		IS-18PM02	石田 健太郎	明星大学教育学部	話題提供
		IS-18PM02	藤原 朝洋	社会福祉法人美樹和会	話題提供
		IS-18PM02	伊藤 麻紀	日本赤十字医療センター看護学部	話題提供
		IS-18PM02	玉置 佑介	明星大学教育学部	企画・指定討論
		IS-18PM02	細野 知子	日本赤十字看護大学看護学部	企画・指定討論
学会賞選考委員会 10月19日 (日) 13:00-15:00	質的研究の明日のために－『質的心理 学研究』第22・23号優秀論文賞選考の フィードバック－	IS-19PM01	沖潮 満里子	青山学院大学教育人間科学部	企画・司会
		IS-19PM01	松本 光太郎	茨城大学人文社会科学部	企画・話題提供
		IS-19PM01	山田 富秋	NPO社会理論・動態研究所	企画・話題提供
		IS-19PM01	榎田 美雄	摂南大学現代社会学部	企画・話題提供
常任理事会 10月19日 (日) 15:30-17:30	「円卓シネマ」から20年 私たちは何 をなしえ、これから何をしていくのか	IS-19PM02	伊藤 哲司	茨城大学人文社会科学部	企画・司会
		IS-19PM02	山本 登志哉	発達支援研究所	企画・話題提供
		IS-19PM02	中坪 史典	広島大学大学院人間社会科学研究所	企画
		IS-19PM02	呉 宣児	共愛学園前橋国際大学国際社会学部	話題提供
		IS-19PM02	沈 炫普	慶熙大学校大学院国語国文学科	話題提供
		IS-19PM02	能智 正博	東京大学大学院教育学研究科	指定討論

※氏名・所属・役割は、ご提出の抄録原稿ファイルをもとに作成しています。

会員企画シンポジウム (KS)

■10月18日 (土) 9:30~11:30

タイトル	番号	発表日時	登壇者氏名	登壇者所属	登壇者の役割
ビジュアル・ナラティブとは？—質的研究の新天地—	KS-01	KS-18AM	横山 草介	東京都市大学人間科学部	企画・話題提供
	KS-01	KS-18AM	荘島 幸子	帝京平成大学健康メディカル学部	話題提供
	KS-01	KS-18AM	水戸 貴久	立命館アジア太平洋大学言語教育センター	話題提供
	KS-01	KS-18AM	やまだ ようこ	立命館大学OIC総合研究機構	企画・話題提供
データセッションへの招待—東京ディスコース研究会の実践から—	KS-02	KS-18AM	綾城 初穂	駒沢女子大学共創文化学部	企画・司会・話題提供
	KS-02	KS-18AM	大橋 靖史	淑徳大学総合福祉学部	企画・話題提供
	KS-02	KS-18AM	能智 正博	東京大学大学院教育学研究科	企画・話題提供
	KS-02	KS-18AM	鈴木 聡志	東京農業大学教職・学術情報課程	話題提供
	KS-02	KS-18AM	岩根 由佳	お茶の水女子大学大学院人間発達科学専攻	話題提供
	KS-02	KS-18AM	太齋 慧	東京大学大学院教育学研究科	話題提供
	KS-02	KS-18AM	川野 健治	立命館大学総合心理学部	指定討論
	KS-02	KS-18AM	八ッ塚 一郎	熊本大学大学院教育学研究科	指定討論
AIが質的研究をどう変えていくか—その③—	KS-03	KS-18AM	薛 海升	東京大学大学院教育学研究科	企画・話題提供・司会
	KS-03	KS-18AM	豊田 隼	東京大学大学院教育学研究科・日本学術振興会	話題提供
	KS-03	KS-18AM	稲田 真子	東京大学大学院教育学研究科	話題提供
	KS-03	KS-18AM	中田 友貴	立命館大学総合心理学部	話題提供
	KS-03	KS-18AM	榎田 美雄	摂南大学現代社会学科	指定討論
	KS-03	KS-18AM	尾見 康博	山梨大学大学院総合研究部	指定討論

■10月18日 (土) 15:30~17:30

タイトル	番号	発表日時	登壇者氏名	登壇者所属	登壇者の役割
現象学的研究成果と実践者との架橋—実践可能性と困難さ—	KS-04	KS-18PM02	羽川 綾子	日本赤十字豊田看護大学看護学部	企画・話題提供
	KS-04	KS-18PM02	坂井 志織	東京都立大学健康福祉学部	企画・司会
	KS-04	KS-18PM02	小林 道太郎	大阪医科薬科大学看護学部	企画・指定討論
	KS-04	KS-18PM02	藤ノ井鴻介	京都大学医学部附属病院	話題提供
	KS-04	KS-18PM02	松下 はる糸	看護師	話題提供
ABRで「土地の力」を描き出す—映像とその制作プロセスの探求—	KS-05	KS-18PM02	村本 邦子	立命館大学大学院人間科学研究科	企画・司会・映像制作
	KS-05	KS-18PM02	安斎 聡子	青山学院大学コミュニティ人間科学部	映像制作およびパネリスト
	KS-05	KS-18PM02	伊藤 哲司	茨城大学人文社会科学部	映像制作およびパネリスト
	KS-05	KS-18PM02	河野 暁子	岩手県立大学宮古短期大学部・立命館大学大学院	映像制作およびパネリスト
	KS-05	KS-18PM02	小木 貢	東京大学生産技術研究所	映像制作およびパネリスト
	KS-05	KS-18PM02	薛 海升	東京大学大学院教育学研究科	映像制作およびパネリスト
技術と人間が織りなす「学び」を質的に探究する—生成AI、ロボット、スマートフォンを例に—	KS-06	KS-18PM02	水上 拓哉	新潟大学創生学部	企画・司会・話題提供
	KS-06	KS-18PM02	布施 陽太郎	富山県立大学	話題提供
	KS-06	KS-18PM02	大家 慎也	久留米工業高等専門学校	話題提供
	KS-06	KS-18PM02	呉 文慧	神戸大学	話題提供
慧眼か凡眼か、見識か不見識か、その狭間を葛藤とともに歩む	KS-07	KS-18PM02	本山 方子	白梅学園大学子ども学部	企画・司会
	KS-07	KS-18PM02	横山 草介	東京都市大学人間科学部	企画・話題提供
	KS-07	KS-18PM02	八ッ塚 一郎	熊本大学大学院教育学研究科	話題提供
	KS-07	KS-18PM02	木下 寛子	九州大学大学院人間環境学研究院	話題提供

※氏名・所属・役割は、ご提出の抄録原稿ファイルをもとに作成しています。

■10月19日（日）9：30～11：30

タイトル	番号	発表日時	登壇者氏名	登壇者所属	登壇者の役割
	KS-08	KS-19AM	中津 真美	東京大学多様性包摂共創センター	企画・司会
多元的な〈現実〉と質的研究をつなぐ－ろう者・	KS-08	KS-19AM	中井 好男	大阪大学大学院人間科学研究科	企画・話題提供
手話・コーダ・聾学校・聴覚障害の領域の研究か	KS-08	KS-19AM	西垣 正展	立命館大学大学院人間科学研究科	企画・話題提供
ら考える－	KS-08	KS-19AM	広津 侑実子	東京都公立学校スクールカウンセラー	企画・話題提供
	KS-08	KS-19AM	能智 正博	東京大学大学院教育学研究科	指定討論
	KS-09	KS-19AM	海老田 大五朗	新潟青陵大学福祉心理子ども学部	企画
現象学的・エスノメソドロジー的研究方法とアク	KS-09	KS-19AM	久保田 裕斗	びわこ学院大学教育福祉学部	話題提供
ターネットワークセオリー・状況的学習論的なも	KS-09	KS-19AM	呉 文慧	神戸大学大学院人間発達環境学研究科	話題提供
のの見方	KS-09	KS-19AM	平賀 慧	東海大学スポーツプロモーションセンター	話題提供
	KS-09	KS-19AM	岡部 大介	東京都市大学メディア情報学部	指定討論
	KS-09	KS-19AM	横山 草介	東京都市大学人間科学部	指定討論
	KS-10	KS-19AM	廣瀬 太介	立命館大学人間科学研究科	企画・司会・話題提供
一つの経験を複数の方法で分析することの意義	KS-10	KS-19AM	高井 かおり	東亜大学人間科学部	話題提供
－記号力学的文化心理学の方法論から方法へ－	KS-10	KS-19AM	田口 友美	佐賀大学医学部/立命館大学人間科学研究科	話題提供
	KS-10	KS-19AM	上川 多恵子	創価大学文学部	話題提供
	KS-10	KS-19AM	尾見 康博	山梨大学大学院教育学域	指定討論
	KS-11	KS-19AM	福山 未智	立命館大学人間科学研究科	企画・話題提供
	KS-11	KS-19AM	サトウ タツヤ	立命館大学総合心理学部	企画
TEMにおける時期区分の真正性向上－個体化理論	KS-11	KS-19AM	高橋 彩	岡山大学学術研究院教育学域	話題提供
に基づくクロスチェック表の実践的活用－	KS-11	KS-19AM	鬼頭 弥生	立命館大学人間科学研究科	話題提供
	KS-11	KS-19AM	杉本 菜月	立命館大学人間科学研究科	話題提供
	KS-11	KS-19AM	長谷川 絢音	立命館大学人間科学研究科	話題提供
	KS-11	KS-19AM	上田 敏丈	名古屋市立大学大学院人間文化研究科	指定討論

■10月19日（日）13：00～15：00

タイトル	番号	発表日時	登壇者氏名	登壇者所属	登壇者の役割
	KS-12	KS-19PM01	保坂 裕子	兵庫県立大学環境人間学部	企画・話題提供
	KS-12	KS-19PM01	青山 征彦	成城大学社会イノベーション学部	企画
コミュニティを変える力－活動理論における	KS-12	KS-19PM01	山下 香	甲南女子大学文学部	話題提供
Transformative agency概念を手がかりに	KS-12	KS-19PM01	俣賀 勇人	成城大学社会イノベーション研究科	話題提供
	KS-12	KS-19PM01	川野 健治	立命館大学総合心理学部	指定討論
	KS-12	KS-19PM01	木下 寛子	九州大学大学院人間環境学研究院	指定討論
	KS-13	KS-19PM01	中本 明世	甲南女子大学看護リハビリテーション学部	企画・司会・話題提供
自然物を用いて複線径路を描くhana-TEMの発展可	KS-13	KS-19PM01	土元 哲平	立命館大学OIC総合研究機構	話題提供
可能性－保育・看護・教育領域での応用を考える－	KS-13	KS-19PM01	上川 多恵子	創価大学文学部	話題提供
	KS-13	KS-19PM01	加藤 望	名古屋学芸大学ヒューマンケア学部	話題提供
	KS-13	KS-19PM01	北出 慶子	立命館大学文学部	指定討論

複線径路等至性アプローチ (TEA) と Triple Gegenstand理論の新たな接合可能性を探る	KS-14	KS-19PM01	田中 千尋	帝京大学福岡医療技術学部	企画・話題提供
	KS-14	KS-19PM01	山口 恭平	帝京大学福岡医療技術学部	司会
	KS-14	KS-19PM01	宮下 太陽	株式会社日本総合研究所未来社会価値研究所	話題提供
	KS-14	KS-19PM01	小澤 伊久美	国際基督教大学教養学部	話題提供
	KS-14	KS-19PM01	矢野 亜紀子	大分県立看護科学大学看護学部	話題提供
	KS-14	KS-19PM01	中田 友貴	立命館大学総合心理学部	話題提供
	KS-14	KS-19PM01	尾見 康博	山梨大学大学院教育学域	指定討論
	KS-14	KS-19PM01	香曾我部 琢	宮城教育大学家庭教育講座	指定討論
「居場所」の意義と多様性 ―多文化社会における 架橋として―	KS-15	KS-19PM01	鈴木 一代	埼玉純真短期大学	企画・司会・話題提供
	KS-15	KS-19PM01	有川 友子	大阪大学国際機構	企画・司会・話題提供
	KS-15	KS-19PM01	吹原 豊	福岡女子大学国際文理学部	話題提供
	KS-15	KS-19PM01	手塚 千鶴子	元慶應義塾大学	指定討論
	KS-15	KS-19PM01	稲田 素子	立教大学文学部	指定討論
参与構造を軸にしたメディアの相互行為分析	KS-16	KS-19PM01	高梨 克也	滋賀県立大学人間文化学部	企画・話題提供
	KS-16	KS-19PM01	細馬 宏通	早稲田大学文化構想学部	話題提供
	KS-16	KS-19PM01	大山 星馬	青山学院大学社会情報学研究所	話題提供
	KS-16	KS-19PM01	重久 理奈	大阪大学大学院人文学研究科	話題提供

■10月19日 (日) 15:30~17:30

タイトル	登録番号	発表日時	登壇者氏名	登壇者所属	登壇者の役割
伝統的日本文化の啓発と創発に向けて	KS-17	KS-19PM02	木戸 彩恵	関西大学文学部	企画・司会・話題提供
	KS-17	KS-19PM02	やまだ ようこ	立命館大学OIC総合研究機構	話題提供
	KS-17	KS-19PM02	松熊 亮	千葉商科大学基盤教育機構	話題提供
	KS-17	KS-19PM02	竹内一真	多摩大学グローバルスタディーズ学部	話題提供
パフォーマンスが／でひらくアートベース・リサーチの可能性－意味の生成と多義性をめぐって－	KS-18	KS-19PM02	青山 征彦	成城大学社会イノベーション学部	企画
	KS-18	KS-19PM02	松嶋 秀明	滋賀県立大学人間文化学部	話題提供
	KS-18	KS-19PM02	郡司 菜津美	国士舘大学文学部	話題提供
	KS-18	KS-19PM02	岸 磨貴子	明治大学国際日本学部	話題提供
文化の中で揺れる〈私〉－ヤーン・ヴァルシナーの文化心理学に基づく「矛盾」の質的探究－	KS-19	KS-19PM02	番田 清美	人間環境大学総合心理学部	企画・司会
	KS-19	KS-19PM02	市川 章子	国立国語研究所	話題提供
	KS-19	KS-19PM02	宮下 太陽	株式会社日本総合研究所未来社会価値研究所	話題提供
	KS-19	KS-19PM02	土元 哲平	立命館大学OIC総合研究機構	話題提供
	KS-19	KS-19PM02	安田 裕子	立命館大学総合心理学部	指定討論
質的研究法としてのパターン・ランゲージよい実践の本質／経験則を言語化し共有する方法－	KS-20	KS-19PM02	井庭 崇	慶應義塾大学総合政策学部	企画・司会
	KS-20	KS-19PM02	金子 智紀	非営利型株式会社KOTOBUKI	話題提供
	KS-20	KS-19PM02	鎌田 安里紗	一般社団法人unisteps	話題提供
	KS-20	KS-19PM02	山野 大星	日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校	話題提供
歴史を見据えるフィールドワーク－農と食と心理学7－	KS-20	KS-19PM02	サトウ タツヤ	立命館大学総合心理学部	指定討論
	KS-21	KS-19PM02	石井 宏典	茨城大学人文社会科学部	企画・司会
	KS-21	KS-19PM02	菅野 幸恵	青山学院大学コミュニティ人間科学部	話題提供
	KS-21	KS-19PM02	木下 寛子	九州大学大学院人間環境学研究院	話題提供
	KS-21	KS-19PM02	浜田 寿美男	奈良女子大学名誉教授	指定討論
アートを紹介して「知る」とは－音楽療法士によるアートベースト「リサーチ」体験型シンポジウム－	KS-22	KS-19PM02	生野 里花	お茶の水女子大学基幹研究院	企画・司会・話題提供・討論
	KS-22	KS-19PM02	高田 由利子	札幌大谷大学芸術学部	話題提供・討論
	KS-22	KS-19PM02	三宅 博子	国立音楽大学音楽学部	話題提供・討論

ポスタ発表一 (P) (一般:A, 優秀賞セッション:B)

■10月18日 (土) 9:30~11:30 ポスター発表 (一般)

発表番号	連名順	登壇者氏名	発表者所属	発表題目
P-18A-01	筆頭	宮前 良平	福山市立大学 都市経営学部	「防災意識を高める」とはどのようなことか?—テキストマイニングによる調査をもとに
P-18A-02	筆頭	広津 侑実子	東京都立学校	聴覚障害のある人の心理的支援における専門性
P-18A-03	筆頭	細馬 宏通	早稲田大学 文学学術院	訪問介護における注意共有の達成過程—インターフェースとしての冷蔵庫—
	第2	八木 裕子	東洋大学 福祉社会デザイン学部	
P-18A-04	筆頭	細野 知子	日本赤十字看護大学看護学部	糖尿病診療場面におけるモニタリングを介したコミュニケーション—1型糖尿病患者—医療者間でのデータ活用方法の相違
	第2	海老田 大五朗	新潟青陵大学福祉心理子ども学部	
P-18A-05	筆頭	角南 なおみ	帝京大学 文学部	発達障害傾向のある5歳児に対する保育士のかかわり
	第2	前垣 義弘	鳥取大学医学部	
P-18A-06	筆頭	李 勇昕	立正大学 人文科学研究科	予言される災害と〈信じる／信じない〉の間—日本と台湾における語りの比較
P-18A-07	筆頭	中井 好男	大阪大学 人間科学研究科	ことばの教育が「共に生きる」に貢献するには—日本語教育従事者による協働オートエスノグラフィーをもとに—
	第2	中山 亜紀子	広島大学 人間社会科学研究科	
	第3	高 智子	日本国際協力センター	
P-18A-08	筆頭	杉山 高志	九州大学 大学院人間環境学研究院	住民主体の防災活動に関する質的分析と予測モデルの接続
	第2	棚橋 莉沙子	九州大学 統合新領域学府	
P-18A-09	筆頭	松原 未季	大阪信愛学院大学 教育学部	幼稚園5歳児における生活準拠型の生活発表会の形成プロセスと意味—発表会「わくわくだんのロボットランド」の事例的検討—
P-18A-10	筆頭	猿渡 敬志	花王株式会社 研究戦略・企画	対話型鑑賞が年長児に与える教育的効果—質的データから見る成長の瞬間
	第2	山口 紀子	花王株式会社 研究戦略・企画	
P-18A-11	筆頭	張富麟	茨城大学 人文社会科学研究科	商店街における多文化コミュニティ形成の現状と課題—東京都台東区上野アメ横における経営者の語りに着目して—
P-18A-12	筆頭	村松 秀樹	放送大学大学院 文化科学研究科	メンタルヘルスにおけるリカバリープロセスの社会構成的観点による多面的検討—オートエスノグラフィーによる質的分析—
P-18A-13	筆頭	加藤 嘉明	青山学院大学 教育人間科学研究科	ホログラフィートークで起こること—セラピストへのインタビューを通して—
	第2	沖潮 満里子	青山学院大学 教育人間科学部	
P-18A-14	筆頭	竹内 一真	多摩大学 グローバルスタディーズ学部	ビジュアルナラティブにおける創造性と正統性—制作物における語りと騙り
P-18A-15	筆頭	ヤン ダンピ	立命館大学 総合心理学部	成人形成期(emerging adulthood)きょうだい児の心理的現象
P-18A-16	筆頭	石井 俊行	兵庫大学 看護学部	血液透析患者の穿刺時の痛みに着目した学生の学び
P-18A-17	筆頭	境 悠太郎	広島大学 大学院 人間社会科学研究科	特別支援学級で学校支援ボランティアを行う大学院生の内的変容過程—Auto-TEMを用いた質的分析—
	第2	朝岡 寛史	広島大学大学院人間社会科学研究科	
P-18A-18	筆頭	吉田 弘美	法政大学大学院 人間社会研究科	解釈的現象学的分析拡充版 (Interpretative Phenomenological Analysis-improved) の開発に関する研究—生き直しを語る女性と研究者の共同構築の世界を目指して—
P-18A-19	筆頭	村上 めぐみ	東京都	「若者ケアラー」のキャリア選択—ケア体験の意味づけと人生への統合に着目して—

P-18A-20	筆頭	三枝 信吾	東海大学 文明研究所	入院中の脳卒中者における上肢の物語性ーリハビリテーションに取り組む二症例に基づく検討ー
P-18A-21	筆頭	下中村 武	岡山大学学術研究院教育学域	教育学部で特別支援教育を専攻する大学生の教職志望度と障害観に関する調査研究
P-18A-22	筆頭	小沢 一仁	東京工芸大学 教職課程	1事例における青年期のアイデンティティ危機の様相から得られるものー居場所アイデンティティグラムを用いてー
P-18A-23	筆頭	勝谷 紀子	東京大学先端科学技術研究センター/放送大学大学院	聞こえの多様性の可視化を目指した当事者研究の実践
	第2	麻野 美和	きこいろ 片耳難聴のコミュニティ	
	第3	江連 紀子	特定非営利活動法人愛知県難聴・中途失聴者協会	
	第4	佐野 智子	国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	
	第5	高宮 明子	(株)愛真美	
	第6	渡邊 歆忠	近畿LiD/APD当事者会	
P-18A-24	筆頭	秋口 楓	立命館大学大学院人間科学研究科	防災・減災に伴うまちづくり構想についてー南海トラフ巨大地震の被害予測地域に着目した探索的研究ー
P-18A-25	筆頭	新井 素子	立教大学 文学部	自傷行為する子どもの支援のイメージー教育関係機関で支援した経験のある心理職が用いたレトリックの分析から
P-18A-26	筆頭	後藤 ガブリエラ	大阪大学 人間科学研究科	「学習支援教室に通う外国ルーツの子ども達における“居場所”意識の実態と課題ー4つの視点による考察ー」
	第2	宮本 匠	大阪大学 人間科学研究科	
P-18A-27	筆頭	横山 愛	埼玉大学教育学部	授業の合意形成場面における聞き手の意見の多様性ー聞き手の理由付けに着目してー
P-18A-28	筆頭	菅野 雅代	仙台高等専門学校	Bridging the gap between expectations and reality: The use of emotion regulation strategies by university English teachers
P-18A-29	筆頭	佐藤 暁子	名古屋大学 大学院 教育発達科学研究科	飛行操縦訓練の継続意志に関連する諸要因の探索的研究ーワークモチベーションの観点からー

■10月18日（土）9：30～11：30 ポスター発表（優秀賞セッション）

発表番号	連名順	登壇者氏名	発表者所属	発表題目
P-18B-01	筆頭	鳥本 大貴	愛知学院大学心理臨床センター	「悩めなさ」についての考察ーマンガ作品の登場人物に見られる葛藤の抱えられなさを例にしてー
P-18B-02	筆頭	楠見 友輔	信州大学 教育学部	ワークショップ「ナンセンス・エスノグラフィ」の方法と結果
P-18B-03	筆頭	川崎 隆	別府大学	刑務所における対話実践の特性ー対話実践のやりとりと職員へのインタビュー調査からー
	第2	北村 篤司	昭和音楽大学	
	第3	齊藤 哲也	別府大学	
P-18B-04	筆頭	櫻井 香乃	別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻	現代大学生の人生の目的と意味の特徴
	第2	川崎 隆	別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻	
P-18B-05	筆頭	廣瀬 太介	立命館大学 人間科学研究科	質的研究はどのような経験を扱うのか？ー移境態(liminality)における経験ー
P-18B-06	筆頭	大道 香織	広島大学大学院 人間社会科学研究所	ICTの活用はどのように子ども同士の対話を促すのかー複線径路等至性モデリング（TEM）を用いた分析からー
	第2	石川 徹	広島大学大学院 人間社会科学研究所 / 高崎健康福祉大学	
	第3	渡邊 真帆	福山市立大学	
	第4	李 睿苗	広島大学大学院 人間社会科学研究所	
	第5	田島 美帆	広島大学大学院 教育学研究科	

	第6	清水 憲志	広島大学大学院 人間社会科学研究所/中国短期大学	
	第7	岸本 有紀子	広島大学大学院 人間社会科学研究所	
	第8	玉城 美千子	広島大学大学院 人間社会科学研究所/あおぞら幼稚園	
	第9	周 偉傑	広島大学大学院 人間社会科学研究所	
	第10	ニフユクス 美冬	スマートエデュケーション	
	第11	下川 功喜	スマートエデュケーション	
	第12	宮島 衣瑛	広島大学大学院	
	第13	中坪 史典	広島大学大学院	
P-18B-07	筆頭	加藤 望	名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部	森での保育活動は子どもに何を与えるのか
	第2	肥田 武	一宮研伸大学 看護学部	
	第3	内田 千春	東洋大学福祉社会デザイン学部	
	第4	ポーター 倫子	北陸学院大学教育学部	
	第5	中坪 史典	広島大学大学院人間社会科学研究所	
P-18B-08	筆頭	松尾 純子	千葉県スクールカウンセラー	「原爆」「被爆者」を体験者はどのように意味づけるのか —「生きる」を支える2つの方法—
P-18B-09	筆頭	木戸 彩恵	関西大学文学部	日中韓アナウンサーの顔写真にみる共通性と文化的差異
	第2	李 心庭	関西大学心理学研究科	
	第3	高野 眞生	関西大学心理学研究科	
P-18B-10	筆頭	新田 一洋	青山学院大学 社会情報学研究所	創作的実践における参加と正統性の構造に関する一考察
P-18B-11	筆頭	西井 宏之	白梅学園大学大学院	幼稚園5歳児の学級談話における発表者への質問の形成—聞き手による「言い換え」に着目して—
P-18B-12	筆頭	松元 圭	新潟医療福祉大学 社会福祉学科	家族関係が悪化する過程と現在の病状に対する意味づけの検討—双極症患者の生活史から
	第2	三品 拓人	筑波大学 人文社会系	
P-18B-13	筆頭	丸山 慎	駒沢女子大学 共創文化学部	オーケストラ演奏の現場にみる「意味を創り、共有する」実践—指揮者の身体技法と言語的指示の特徴に着目した事例研究—
P-18B-14	筆頭	藤井 真樹	名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部	人の育ちにおける「目に見えないもの」の意義を探る（第二報）—サンタクローズの「贈り物」とは何なのか—
	第2	西村 美佳	金城学院大学 人間科学部	
	第3	勝浦 眞仁	同志社女子大学 現代社会学部	
P-18B-15	筆頭	渡邊 真帆	福山市立大学 教育学部	降園の時間帯において子どもたちはどのように遊ぶのか—環境の不安定さに着目して—
P-18B-16	筆頭	依田 尚也	駒沢女子大学	心理専門職における相互的な継承プロセス—語り合いを用いた検討
P-18B-17	筆頭	仲嶺 真	荒川出版会/国際経済労働研究所	パーソナリティを取り戻す—渡邊芳之のパーソナリティ観の批判的継承—
P-18B-18	筆頭	KONG MINGXI	立命館大学 人間科学研究科	親からのガスライティングを経験し立ち直るプロセスへの探求—TEAを用いて—
	第2	安田 裕子	立命館大学 総合心理学部・人間科学研究科	
P-18B-19	筆頭	古屋 千紘	筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類	アートベース・リサーチによる"纏う"の探究
	第2	遠藤 友咲	筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究情報学学位プログラム	

	第3	松原 正樹	筑波大学図書館情報メディア系	
P-18B-20	筆頭	小山 多三代	立命館大学大学院 人間科学研究科 博士課程後期課程	日本国内企業で長期就業するムスリムの葛藤—複線径路等至性アプローチ (TEA) による分析
	第2	安田 裕子	立命館大学 総合心理学部	
P-18B-21	筆頭	城石 ゆかり	ngoro-ngoro	リーダーシップ発揮に影響を与える自己認識の変化に関する定性的研究
P-18B-22	筆頭	鎌田 真実	北翔大学大学院 臨床心理学研究科	女子大学生が友人に相談することで気持ちが通じ合うことのプロセス
	第2	入江 智也	北翔大学 教育文化学部	
P-18B-23	筆頭	濱名 潔	立花愛の園幼稚園・名古屋市立大人間文化研究科研究員	不適切な保育が発生する構造—うえの式質的分析法を用いた第三者委員会報告書の分析—
P-18B-24	筆頭	吉川 康太	広島大学人間社会科学研究所	子どもの独立性と協調性について日本の母親が語る「期待」と「しんどさ」のアンビバレンス
	第2	梅村 比丘	広島大学人間社会科学研究所	
P-18B-25	筆頭	澤屋 真樹	広島文化学園大学 人間健康学部	紙芝居上演実践における社会包摂の可能性について
P-18B-26	筆頭	永田 真子	筑波大学大学院 人文社会科学研究群	防災教育と社会認識を架橋する—2023年カフラマンマラシュ地震におけるハタイ県の災害経験と知識構築に関するディスコースに着目して—
P-18B-27	筆頭	加藤 美千代	中京大学大学院心理学研究科・一般社団法人日本グリーフケアギフト協会	死別経験者がグリーフに関する教育を行う際の負担感と対処—当事者同士の対話を通じた質的研究—
	第2	石森 恵美	なし	
	第3	川島 大輔	中京大学 心理学部	
P-18B-28	筆頭	濱田 香	株式会社MyStep	学びの姿勢の獲得を目指す支援をとおして、レジリエンスを涵養するプロセスについて
	第2	寒川 美紀	株式会社MyStep	
	第3	野村 栄太	豊中市役所こども未来部	
P-18B-29	筆頭	武島 千明	広島大学 人間社会科学研究所	フィールドにおける〈私〉の意味—フィールドとの対話をとおして—
P-18B-30	筆頭	栗原 慎太郎	情報科学芸術大学院大学	畏敬の念の意味づけプロセスにおけるAIチャットボットの役割—語りに基づく予備的検討—
P-18B-31	筆頭	徳光 薫	園田学園大学 人間看護学部	発達障害をもつ看護師が看護学生時代に体験したこと—今後の看護学生への合理的配慮のために—
	第2	蔡 小瑛	園田学園大学 人間看護学部	
P-18B-32	筆頭	玉木 志穂	農林水産省 農林水産政策研究所	食料品アクセス困難地域における後期高齢者の食料品調達手段に関する質的検討—TEM図による可視化を通して—
	第2	丸山 優樹	農林水産省 農林水産政策研究所	
P-18B-33	筆頭	奥村 哲朗	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科	小児がん、AYA世代がん経験者の就職困難に関する質的調査
P-18B-34	筆頭	貞安 薫	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科	コミュニティとの関わりから再考するニューカマー第二世代のアイデンティ形成—在日日系ペルー人第二世代を事例に—
P-18B-35	筆頭	西島 功	白梅学園大学大学院 子ども学研究科 子ども学専攻 博士課程	無認可幼児教育類似施設の存続をめぐる「余地のない選択」—施設長による信念とマネジメントの語りから
P-18B-36	筆頭	加藤 碧子	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科	心理カウンセリングに対する主観的価値の構成—カウンセリング経験者の意味づけ—
P-18B-37	筆頭	岸本 華穂	奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科	容姿の悩みが和らいでいく心理的過程の検討—成人期女性との語り合いをもとに—
	第2	町田 奈緒士	奈良女子大学 研究院 人文科学系	
P-18B-38	筆頭	駒 久美子	千葉大学 教育学部	TASモデルにおけるサポーターの役割とは—サポーターMのストラテジーと葛藤—
	第2	目戸 郁衣	帝京大学	
P-18B-39	筆頭	カピール ラッセル サーワー	広島大学 教育学部	Designing a Qualitative Research Protocol to Examine Associations between Study Abroad Experiences and Mental Health Factors: Adapting Instruments for Collaborative Interview Studies in Japan

	第2	ハーベル=ボーマン リンジー	School of Communication Studies, James Madison University	
	第3	ベイツ ソフィア	College of Humanities and Social Sciences, George Mason University	
	第4	稲谷 颯	広島大学 教育学部	
	第5	石津 空	広島大学 教育学部	
P-18B-40	筆頭	田中 宏明	慶応義塾大学大学院政策メディア研究科	「つくり方」がつくられるとき—TEM/TLMGによる漫画家・荒木飛呂彦氏の「漫画術」形成プロセスの分析—
	第2	井庭 崇	慶應義塾大学総合政策学部	
P-18B-41	筆頭	境 愛一郎	共立女子大学 児童学科	保育者志望者が他職種を経て保育職に「回帰」するプロセス
P-18B-42	筆頭	佐藤 碧	筑波大学情報学学位プログラム	情報認識・取得・活用におけるADHD者の困難に関する研究—ADHD者のための情報保障に向けて—
P-18B-43	筆頭	大野 美子	大阪大学大学院 人間科学研究科	患者経験のオートエスノグラフィとしての「さかさま事例分析」—精神医療における主客を反転しながら架橋する—
P-18B-44	筆頭	大内 雅登	Care-Media Labo	語られたつもりの行動に耳を澄ます—「共在対話」による発達支援の試み—
	第2	吉村 優一	Care-Media Labo	
P-18B-45	筆頭	劉 毓禧	なし	まちづくりに取り組んでいる人々のライフストーリー—福島県楡葉町に関わる「関係人口」を事例に—
P-18B-46	筆頭	村木 志帆	神奈川県立横須賀高等学校	認知症共生社会実現を目指した「認知症双六」の効果に関する初期検討
	第2	後藤 真衣	神奈川県立横須賀高等学校	
	第3	小野 明日香	NTT株式会社 人間情報研究所	
	第4	山中 綾華	NTT株式会社 人間情報研究所	
	第5	笹川 真奈	NTT株式会社 人間情報研究所	
	第6	瀬古 俊一	NTT株式会社 人間情報研究所	
P-18B-47	筆頭	平原 藍	白梅学園大学 大学院	園舎移転をめぐる行政—園—PTAの組織間調整—問題発覚から移転までのマネジメントの交差—

■10月19日（日）9：30～11：30 ポスター発表（一般）

発表番号	連名順	登壇者氏名	発表者所属	発表題目
P-19A-01	筆頭	久保田 楓	帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科 専門職学位課程	イメージ画にみる父子関係
	第2	荘島 幸子	帝京平成大学 健康メディカル学部 心理学科	
P-19A-02	筆頭	杉浦 彰子	JA共済総合研究所	「川の記憶」とまちづくりのナラティブ（2）—地域実践をととして育んだ質的研究手法の可能性—
	第2	奥村 かえで	茨城大学人文社会科学部	
	第3	李 勇昕	立正大学 人文科学研究科	
	第4	安斎 聡子	青山学院大学コミュニティ人間科学部	
	第5	小木 貢	東京大学生産技術研究所	
	第6	伊藤 哲司	茨城大学人文社会科学部	
P-19A-03	筆頭	菅森 朝子	立教大学 社会学部	がん患者支援におけるオンラインヨガの可能性
P-19A-04	筆頭	上村 晶	桜花学園大学 教育保育学部	保育者と子どもの共主体(Co-Agency)を可視化する試み
P-19A-05	筆頭	中田 友貴	立命館大学 総合心理学部	子育て期女性のキャリア悩みと対処—3歳～5歳を養育する女性へのインタビューの質的分析の結果から—

	第2	安田 裕子	立命館大学総合心理学部	
P-19A-06	筆頭	高野 眞生	関西大学大学院 心理学研究科	女子大学生における美容医療選択の心理的プロセス—TEMを用いた質的分析—
P-19A-07	筆頭	宮下 太陽	立命館大学、株式会社日本総合研究所	ベルクソンの時間論とTEA—分岐点に焦点をあてた理論的展開
	第2	安田 裕子	立命館大学	
	第3	平井 靖史	慶應義塾大学	
P-19A-08	筆頭	李 心庭	関西大学 心理学部	在日中国人女子留学生の化粧行動の変容と異文化環境とのせめぎ合い
P-19A-09	筆頭	ポーター 倫子	北陸学院大学	It's Japan not Japanese Students that Discourages Study Abroad Participations
	第2	リチャード・ポーター	北陸学院大学	
P-19A-10	筆頭	河南 真衣	大阪大学大学院 人間科学研究科	「居場所」支援の手前を捉える—「人と場所をつなぐ」とは別の回路から
P-19A-11	筆頭	駒崎 俊剛	東京医療保健大学医療保険学部医療情報学科	名前復唱の失敗が引き出す人の応答行動：対話型ロボットとのやりとりにおける受容度との関連
P-19A-12	筆頭	斉藤 明子	東京大学大学院教育学研究科	働く母親は子の不登校をどう語るのか—不登校初期の「働くこと」の意味づけに着目して—
P-19A-13	筆頭	立川 真紀絵	大阪大学 日本語日本文化教育センター	外国人ビジネスパーソンにおけるコンフリクトの意味づけの変遷—日系企業の新入社員に対する縦断的なインタビュー調査から—
P-19A-14	筆頭	眞崎 光司	明治大学 国際日本学部	音楽の協働的な創造場面における芸術的目的の再構成—作曲家をめぐるコミュニケーションに注目して—
P-19A-15	筆頭	加藤 夢子	東京大学 教育学研究科	障害のある子どもの保育における「わからなさ」の意味—X特別支援学校での自由な「遊び」に着目して—
P-19A-16	筆頭	佐藤 星	東京大学大学院教育学研究科	原発事故による長期避難の体験—若者の語りから—
P-19A-17	筆頭	三井 小波	北海道大学大学院教育学院	学習支援における大学生支援者のコミットメント—大学生支援者の活動の意味づけに着目して—
P-19A-18	筆頭	伊藤 仁美	環太平洋大学 次世代教育学部	「教師を真に支援する」とは何か—PAC分析が明らかにする若手英語教師の葛藤と成長—
P-19A-19	筆頭	金田 裕子	宮城教育大学 教職大学院	教室における差異を包摂した民主的な秩序形成の過程—多様な子どもたちの参加を準備し協働を創造する教師の実践分析から—
P-19A-20	筆頭	小竹 栞	東京大学 教育学研究科	「食べること」の意味—拒食や過食経験者の語りから—
P-19A-21	筆頭	辻 高明	立命館大学 文学部	生成AIテキストを用いた図書館レファレンス・サービスの可能性
P-19A-22	筆頭	田中 元基	淑徳大学 人文学部	高齢期において多様な社会参加活動の中から子育て支援を選択する背景要因の検討
	第2	徳永 聖子	常葉大学 保育学部	
P-19A-23	筆頭	天願 順優	広島大学 大学院 人間社会科学部研究科 博士課程後期	沖縄の保育はどのように研究されてきたのか
P-19A-24	筆頭	小池 星多	東京都市大学 メディア情報学部社会メディア学科	日本質的心理学会第21回大会のサインデザインの実践と考察
	第2	露木 亜海	東京都市大学メディア情報学部社会メディア学科	
	第3	平井 爽乃	東京都市大学メディア情報学部社会メディア学科	
	第4	山口 琉生音	東京都市大学メディア情報学部社会メディア学科	
P-19A-25	筆頭	久保田 真弓	元関西大学 総合情報学部	義手をめぐる身体受容と意識活動
P-19A-26	筆頭	司城 紀代美	宇都宮大学大学院教育学研究科	小学校における算数の協働的な学習場面の分析—スロー・ルッキングを手がかりに—
	第2	小森 国雄	那珂川町立馬頭東小学校	
P-19A-27	筆頭	曾 玉儒	広島大学 大学院	保育者の対応はどんな文脈に支えられているのか？—3歳未満児クラスの給食場面に注目して—
P-19A-28	筆頭	市川 章子	国立国語研究所	「文化的越境」の再考—重篤な疾病を抱える海外在留邦人を支える家族の葛藤と経験を事例に—

■10月19日（日）9：30～11：30 ポスター発表（優秀賞セッション）

発表番号	連名順	登壇者氏名	発表者所属	発表題目
P-19B-01	筆頭	岡田 羽叶	立命館大学 総合心理学部	メタバースにおける居場所感に関する研究
	第2	サトウ タツヤ	立命館大学 総合心理学部	
P-19B-02	筆頭	有賀 光	信州大学 総合人文社会科学部	非致死性のトラウマのオートエスノグラフィー「避けられている」感覚に着目してー
	第2	楠見 友輔	信州大学 教育学部	
P-19B-03	筆頭	五百竹 亮丞	広島文化学園大学 人間健康学部	定年退職とアルコール依存症に関する新聞記事のテキストマイニングー報道の特徴と依存症の背景要因を探るー
	第2	井川 純一	東北学院大学 人間科学部	
	第3	恒松 美輪子	広島大学大学院	
P-19B-04	筆頭	小屋 美香	育英短期大学 保育学科	絵本環境コーディネーター研修プログラム第1版の開発研究ーインタビュー調査から捉える研修前後における参加者の意識および行動の変容ー
	第2	仲本 美央	白梅学園大学 子ども学部子ども学科	
P-19B-05	筆頭	豊田 隼	東京大学大学院教育学研究科・日本学術振興会	スポーツにおける対人暴力の被害経験をめぐる対話的自己エスノグラフィ（1）ー「被害者」から「研究者」へー
	第2	堀内 多恵	東京大学大学院教育学研究科	
P-19B-06	筆頭	八木 真奈美	東京女子大学 現代教養学部	研究についての対話は何をもたらしたかーデュオエスノグラフィーによる意味の探究ー
	第2	藤原 京佳	大阪大学 国際機構	
P-19B-07	筆頭	北本 遼太	静岡産業大学 経営学部	事件について「語ること」と「語らないこと」ー地下鉄サリン事件の被害者とその家族へのインタビュー調査からー
	第2	仲嶺 真	荒川出版会	
	第3	藤田 浩之	京都大学大学院	
P-19B-08	筆頭	中山 佐代	立命館大学 人間科学研究科	劇場における鑑賞と対話〈シアターダイアログ〉の試み
	第2	川野 健治	立命館大学 総合心理学部	
P-19B-09	筆頭	太齋 慧	東京大学大学院 教育学研究科	心理面接における同性愛者の自己像とその共同生成過程ースティグマ体験をめぐってー
P-19B-10	筆頭	吉田 映里佳	なし	身体感覚の変化から捉える高校教員の職業的アイデンティティ
P-19B-11	筆頭	南 摩周	任意団体yoriai.	コミュニティミュージックの場における多面的な経験とその感じられ方ーフォトボイスを通してー
	第2	角 亮典	任意団体yoriai./早稲田大学大学院文学研究科	
P-19B-12	筆頭	田島 美帆	広島大学大学院教育学研究科	レビュー論文作成に複線径路等至性モデリング（TEM）を用いることの可能性と課題ー保育における子どものICT活用に関する文献レビューからー
	第2	大道 香織	広島大学大学院 人間社会科学部	
	第3	李 睿苗	広島大学大学院 人間社会科学部	
	第4	渡邊 真帆	福山市立大学	
	第5	中坪 史典	広島大学	
P-19B-13	筆頭	稲田 真子	東京大学大学院 教育学研究科	大学内に設置された「居場所」におけるスタッフや利用者の体験ー多様性との両立という観点からー
P-19B-14	筆頭	金澤 佑	大阪大学	Autoethnography as Epistemic Action: A Free Energy Principle Perspective
P-19B-15	筆頭	尾石 智美	九州大学大学院 統合新領域学府	スタンプから読む「非言語以上、言語未満」の共同性ーDiscordを利用した会員制オンライン・コミュニティにおける検証

	第2	杉山 高志	九州大学大学院 人間環境学研究院	
P-19B-16	筆頭	竹原 奈成	駒沢女子大学大学院人文科学研究科臨床心理学専攻	いじめ傍観者体験に関する質的研究—当事者へのインタビューの分析—
P-19B-16	第2	依田 尚也	駒沢女子大学	
P-19B-17	筆頭	堀内 多恵	東京大学大学院 教育学研究科	スポーツにおける対人暴力の被害経験をめぐる対話的自己エスノグラフィ(2)—「対話者」として聴く—
	第2	豊田 隼	東京大学大学院 教育学研究科, 日本学術振興会	
P-19B-18	筆頭	大本 航	九州大学大学院 統合新領域学府	障がい者福祉施設への訪問と交流を促進する学習環境デザインの分析
	第2	迎 拓真	九州大学大学院 統合新領域学府	
	第3	杉山 高志	九州大学大学院 人間環境学研究院	
P-19B-19	筆頭	鈴木 ミチル	九州大学共創学部	被災地における農業の持続可能性と継続要因：山形県酒田市「へらへらでゅーな」の事例から
	第2	杉山 高志	九州大学 大学院人間環境学研究院	
P-19B-20	筆頭	宮下 怜	筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類	物語の断片を創ることの一人称研究
	第2	松原 正樹	筑波大学 図書館情報メディア系	
P-19B-21	筆頭	佐々木 由佳	大阪大学大学院人間科学研究科	医療的ケアが必要な重症心身障児の<主体>の芽生えとそだち—ある乳幼児と母親、支援者との関わりのエピソード記述から—
P-19B-22	筆頭	水野 唯衣	大阪大学大学院 人間科学研究科	「語り合い」において、語ることを可能にするのはいかなる仕組みか—協力者とともに語り合った経験の質感に着目して—
P-19B-23	筆頭	塚本 薫平	大阪大学大学院 人間科学研究科	発達障害の診断を受けることの意味に関する当事者研究
P-19B-24	筆頭	高橋 ゆう子	大妻女子大学 家政学部	自閉スペクトラム症幼児の家族相互行為参加の変容過程
P-19B-25	筆頭	田村 美香	早稲田大学 人間科学部	実践知の言語化によるキャリア支援の探究 — 航空会社客室乗務員を対象としたアクション・リサーチ —
P-19B-26	筆頭	管生 聖子	大阪大学大学院 人間科学研究科	周産期喪失を経ての次の妊娠・出産をした母親の経験—TEMを用いた分析—
P-19B-27	筆頭	仲沢 実桜	東京大学大学院 教育学研究科	異なる意見の統合にビジュアルが与える影響—グラフィックファシリテーション実践を対象とした相互作用分析—
P-19B-28	筆頭	荒木 奈美	札幌大学 地域共創学群	触覚と詩的言語の往復——ニットジャーナルを用いたオートエスノグラフィ——
P-19B-29	筆頭	梁 瀛迪	東京大学大学院 教育学研究科	脳腫瘍患者の語る病いの体験—「わからなさ」に着目して—
P-19B-30	筆頭	単 凱	東京科学大学 環境・社会理工学院	翻訳者による翻訳実務と生成AIについての認識の変容
P-19B-31	筆頭	渡邊 優那	広島大学大学院 人間社会科学研究科	訪問看護という営みを生きる看護師のライフストーリー研究—心的構えの変容に着目して—
P-19B-32	筆頭	鎌苅 慧哉	株式会社suiten	「中小企業オーナー経営者の認知の変容と組織への影響—経営者の自己受容とナラティブアプローチによる組織分析—」
P-19B-33	筆頭	金 葵	川村学園女子大学大学院 人文科学研究科 心理学専攻	地方自治体の虐待担当として働く行政一般職の心的負担についての検討 —保健師職に焦点を当てて—
P-19B-34	筆頭	河原 聡希	大阪大学人間科学部人間科学研究科	「推し」から離れるとき、離れのあと—青年期女性の応援プロセスと意味づけに着目して—
P-19B-35	筆頭	芝崎 文子	筑波大学 ヒューマンエンパワーメント推進局	成人期・中年期のADHD者における自己や環境の個別最適化プロセス
P-19B-36	筆頭	木下 和彦	宮城教育大学 教職大学院	ポピュラー音楽の創作現場におけるミュージシャンの音楽的知識の活用—TEAアプローチによる分析を通して—
	第2	中村 昭彦	国土館大学 文学部	
P-19B-37	筆頭	八木 美華	東北大学大学院 教育学研究科	指導者の葛藤と実践知—ある職業音楽家のライフストーリーから—
P-19B-38	筆頭	火ノ口 史野	九州大学大学院 人間環境学府 実践臨床心理学専攻	あるホスピス住宅におけるスタッフの看取り観—パーソナル・コンストラクト理論を用いた質的研究試論—
P-19B-39	筆頭	河原 希美	京都大学 人間・環境学研究院	ADHD特性における質的差異

P-19B-40	筆頭	村山 陽	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム	コロナ特例貸付アンケート調査の自由記述から見る借受人の感情の様相-年代別の比較
P-19B-41	筆頭	内山 志保	大阪大学 人間科学研究科	まちづくりの主体形成のための空間の意味付けに関する研究
P-19B-42	筆頭	近藤 百玲	青山学院大学大学院 教育人間科学研究科	「大学進学時のより良い学部選択につながる自発的学習を引き起こす契機となる経験の分析—大学院進学時に学部時から専攻を変えて進学した人の語りをもとに—」
	第2	益川 弘如	青山学院大学 教育学部	
P-19B-43	筆頭	石川 徹	広島大学大学院 人間社会科学研究所 / 高崎健康福祉大学 人間発達学部	「夕方時間帯の保育」で感じられる雰囲気とはどのようなものなのか—THINKING AT THE EDGE (TAE) によって見出されたフェルトセンスを手掛かりに—
P-19B-44	筆頭	山口 莉絵	山梨大学大学院 医工農学総合教育部	ADHD当事者が服薬経験を語る場の創出と語りの検討—オンライン・グループインタビューを用いて—
	第2	井潟 瑞希	SOAS MA Medical Anthropology and Mental Health	
P-19B-45	筆頭	磯本 崇仁	立教小学校	タイ人留学生が小学校で自文化を伝える経験から生じた内的変容の質的分析
P-19B-46	筆頭	岡田 心	大阪大学大学院生命機能研究科、CiNet	質的方法の知識の正当化プロセスの顕在化にリフレクティビティを導入する—論理ベイズ主義を踏まえて—
P-19B-47	筆頭	河野 未来	所属なし	生成AIにおける他者性の技術的条件— オートエスノグラフィによる対話論的考察 —